

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人 震災から命を守る会
活動テーマ	平成 30 年「1.17 阪神淡路大震災からの教訓」



災害時には、子ども自身が身を守る意識の有無で生死が分かれるかもしれません。少子社会の今こそ、子どもを守る基礎教育が不可欠です。

みんなで減災を考え、地震に揺らがない国づくりへの準備のひとつとして、次世代の子どもに“自分の命は自分で守る”自覚意識を育てるきっかけの場を、国内3都府県6か所に設けました(愛知県はインフルエンザで中止)。23年前に阪神淡路大震災が発生した時の教訓をもとに、今年は430名の児童が命を守るセミナーを楽しんで体験してもらいました。子どもたちに、すぐ成果が生じるかという、それはわかりません。しかし、訓練を体験した人としていない人の差は、歴然としています。児童が成長する過程で災害に遭遇した時に、初めて成果として現れるでしょう。大人になっても、幼い時に真剣に体験した記憶は“いざ”という時に目覚め、心と体を動かします。

当会本・支部長が講師として精いっぱいお話したことを、家に帰って両親や家族に話してもらうことが、命を守る予防防災として、児童の命を守りご家族、周囲の皆さんの命を守ることに繋がって行くものと思います。

<写真>

左上 大阪府支部会場は「ダンゴムシ」の訓練

左下 和歌山県御坊市会場は、ライフジャケットを着用する児童たち

右上 和歌山県本部会場でタマゴの殻の上を歩く児童たちと、手を引く和歌山医科大学生・和歌山大学生

右下 東京都支部準備室の江東区モデルセミナーの様子